

第4回 大阪サクヤヒメ国際女性会議

グローバルで活躍する ニューリーダーとは

基調講演

在大阪英国総領事 キャロリン・デービッドソン氏

2003年-2008年 駐スロバキア英国公使、2008年-2012年 駐ザンビア英国高等弁務官、2012年-2014年 英国外務省 気候変動・エネルギー部副部長、2015年-2019年 駐グアテマラ英国大使（兼ホンジュラス英国大使）、2020年9月-2020年12月 駐日英国大使館 公使参事官 経済・科学・貿易政策・エネルギー政策、2021年8月より現職。



2022.
9/16.Fri

18:00~20:00

アーカイブ配信：9/16.Fri - 9/26.Mon

場 所：ドーンセンター 7階ホール
(大阪市中央区大手前1-3-49)
※天満橋駅から徒歩約350m
※オンライン視聴可

参加費：無料（要申込）

定 員：会 場 100名
オンライン 200名

お申込み

ホームページにて
受付しております。

スマートフォンは
こちら



▶事例紹介

株式会社竹延 代表取締役社長
竹延 幸雄氏



▶リーダーシップに関するアンケート結果報告

関西大学大学院
総合情報学研究科 高橋 えり氏
外国語教育学研究科 田中 晶子氏

▶パネルディスカッション

<パネリスト>

在大阪英国総領事 キャロリン・デービッドソン氏
株式会社竹延 代表取締役社長 竹延 幸雄氏
株式会社West Heading 代表取締役 松田 聖子氏
象印マホービン株式会社
新事業開発室 サブマネージャー 栗栖 美和氏
関西大学大学院 東アジア文化研究科 角野 有果里氏

<コーディネーター>

株式会社フジプラス 管理本部
ブランド・コミュニケーショングループ
部長 藤江 洋子氏

※本事業は大阪府が開催する「OSAKA 女性活躍推進ドーン de キラリ 2 days」のイベントのひとつとして実施いたします。

主催：大阪商工会議所、大阪サクヤヒメSDGs研究会

共催：大阪府、関西女性活躍推進フォーラム 後援：関西大学

大阪商工会議所 人材開発部 研修・採用支援担当

TEL：06-6944-6499



大阪サクヤヒメ
SDGs研究会



OSAKA
SAKUYAHIME
AWARD

5 ジェンダー平等を
実現しよう



SDGsの視点を 養うカードゲーム

8 働きがいも
経済成長も



頭を柔らかくしてアイデアを発想！カードを使って楽しく遊びながら、ゲーム感覚でサステナブルな社会や働き方について一緒に考えませんか？本イベントでは、SDGsの視点を養うカードゲームを行います。働き方に関心がある方はどなたでも参加いただけますので、カードゲームを楽しみながら一緒に自分らしい働き方を発見しましょう！

2022.9/16.Fri
18:30～20:00

お申込み方法

ホームページにて受付しております。

スマートフォンはこちら



場所 ドーンセンター
5F 特別会議室

定員 30名 ※申込先着順

参加費 無料

主催 大阪商工会議所
サクヤ・ワーキング・コミュニティ

共催 大阪府、関西女性活躍推進フォーラム

大阪サクヤヒメ表彰 受賞者の活動を紹介します

「大阪サクヤヒメ表彰」とは、後進のロールモデルとなる企業活動や文化的活動で活躍する女性リーダーを表彰する、大阪商工会議所の制度。5年間（2016年度～2020年度）で累計227名を表彰。受賞者による業種・職種の枠を超えた幅広い女性リーダーのネットワークが構築されています。

サクヤ・ワーキング・コミュニティ

大阪サクヤヒメSDGs研究会からスピノフして設立。メンバー約40名。職場以外の第3のコミュニティとしてオンライン・オフラインのネットワークを構築。多様な経歴をもつメンバーが、他者アピールや英会話、時短レシピなど、得意なことを相互に学びあう場を提供し、生き生きと働くことを支援しています。

万博サクヤヒメ会議

第1回受賞者・関係者によるコンソーシアム。メンバー20名。同会議の理念に基づいた活動として2025年大阪・関西万博の機運醸成を目的としたシンポジウムを年1回開催。今年4月から学校への出張授業「きかせて！サクヤヒメ先生」を実施。働くことの意義や楽しさを学生に伝えています。



大阪サクヤヒメSDGs研究会

第1回～第5回受賞者及び受賞者以外の働く女性も参加し、メンバー約40名。「大阪サクヤヒメ国際女性会議」、「サクヤヒメと語るキラリカフェ」「まちづくりカフェ」を開催。「関西発！SDGsでキラリ輝く女性たち～サクヤヒメ・ロールモデル集～」をHPに掲載し、受賞者やメンバーなど、ロールモデルとなる働く女性を紹介しています。使わなくなった端布を回収し、クラウドファンディングで得た資金をもとに、障がい者福祉作業所でエコバッグに製作して販売するなど、エシカル消費の推進にも取り組んでいます。

